



クログネモチの雌花
(モチノキ科)

雌雄異株で、写真の花は、雌株に咲く雌花です。

常緑のツル性の多年草で、茎の先に2個の花を並んでつけます。秋にできる赤い実には、2か所花のあとが見られます。



ツルアリドオシ
(アカネ科)



小さなサクラランボ
(バラ科)

市販されているサクラランボとは大きさが異なりますが、園内のヤマザクラにも小さなサクラランボができています。



ヒペリカムヒドコート
(オトギリソウ科)

園内に植栽しているオトギリソウ属の園芸植物です。



ヒペリカムカリシナム
(オトギリソウ科)

みどころ Mikiyama

令和4年6月上旬

過去の「みどころ」はHPの2ページ目以降にあります

三木山森林公園 検索
カラー写真入りの「みどころ情報」をHPにて掲載しています

クリの雄花、ヤマモモの若い実は園内各所で見られます。



クリの雄花
(ブナ科)



クリの雄花の最盛期です。

イヌツゲの雄花
(モチノキ科)

雌雄異株で、写真の花は、雄株に咲く雄花です。ツゲ科のツゲとは全く異なる植物です。



ネジキ (ツツジ科)

ネジキの美しい花が目立ちます。



カイツブリ (カイツブリ科)

去年は、上池で子育てをするカイツブリが見られましたが、今年は奥池(水源池)で子育てをしています。親がいる写真の巣の周りでヒナが水に潜って餌とりをしていました。

若いヤマモモの実
(ヤマモモ科)



今春は花が少なめでしたが、最近若いヤマモモの実が目立ち始めました。

ユウゲシヨウ
(タ化粧)
(アカバナ科)



マツヨイグサ(待宵草)(*Oenothera*)属の多年草。南米から北米南部の原産の帰化植物で、あちこちで良く見かける大型のヒルザキツキミソウ(昼咲月見草)と似ています。ヒルザキツキミソウの方が大型である点と色がユウゲシヨウ(タ化粧)の方が濃い点が異なります。



ヤブジラミ (セリ科)

越年草で、楕円形のおもしろい形の実をつけます。



ムラサキニガナ
(キク科)

刈り取らず種を飛ばすように仕向けたところ、今年は爆発的に増えました。開花直前です。